

新支部長 登壇



全国鉄構工業協会・中国

山本 泰徳氏

6月8日付で全国鉄構工業協会の中国支部長(理事)に就任した。中国地区各県にある有力フアブリケーターの若手経営者に、支部活動にどんな参加してほしい。世代交代をして代謝させ、学習会や交流会を行い活性化したい」と意気込みを語る。広島県鉄構工業会の理事長としても、3期目(1期2年)を務めることになった。

得意分野生かし連携

現在の業界を取り巻く事業環境は、フアブリケーターは全体的に稼働率が高く手持ちの仕事量も多い。物件の大型化が進んでいるため、将来景気が悪くなった時は「営業力や技術力が不足するフアブリケーターは、取り残されてしまうのではな

いか」と危惧する。経営が悪化するフアブを出さない対策として、フアブ同士が対等な関係でグループをつくり、それぞれが得意分野を生かして連携し受注をする必要がある」と提言する。

鉄骨業界では人手不足が問題になっている。高度な技術を持ったベトナム人

ことが美しい」と思える人材を育成すると意気込む。(高田 肇)

を受け入れる仕組みを計画中だ。
支部長は「フアブリケーター業界は今後、全体の『所得倍増』を目指し完全『4週8休』を実施し若い人に入ってきてもらうことが必要」と訴え「ものづくりが好きでこつこつと働き、汗を流す

▽山本泰徳(やまもと やすのり)氏1988年青学大経営卒。ソフトサービス会社に勤務後、93年山本鉄工所(現スアントス)に入社し、02年社長就任。同社は今年4月に創業80周年を迎えた。いつも本気で取り組み、本音を創ろうの「3本主義」をモットーに、仕事に取り組む。フアブリケーターの地位向上、認知度アップのために業界の改革をしたい。365日、鉄骨のことを考えている」と話す。64年12月14生まれ、広島県出身。